

## 2) 事業経営の安定化(規模拡大・機能拡充)

2015年の訪問看護利用者数(現状:28万人⇒目標値:90万人\*)  
 に向けて、事業・機能の拡大を図り、経営の安定化を図る。

### 経営戦略の検討

経営健全化コンサルテーションを行う、機能を複  
 合化して経営を安定化するなど、経営の抜本的  
 改革を行う

### 人材確保

地域での訪問看護ナースバンク設立、新人看護  
 師の積極登用、再就職支援などを計画的に進め、  
 訪問看護師を9万人(現状:2.7万人)確保する

### 経営安定化

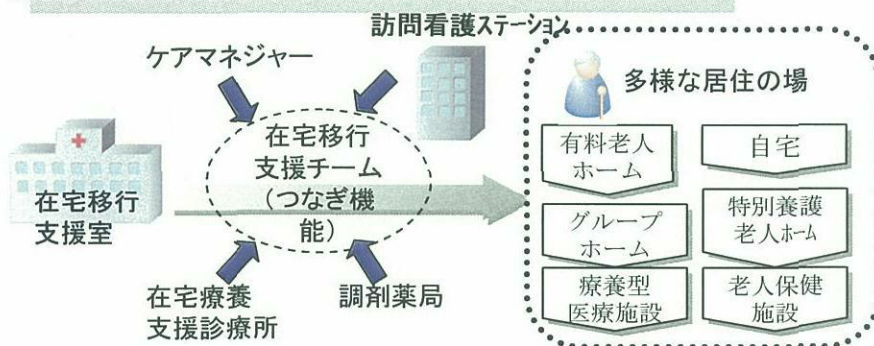
### 機能の拡充

### 在宅移行支援の機能強化

在宅ケア移行ハイリスク者に対して、訪問看護師  
 が「つなぎ機能」を中心に果たし、利用者が安  
 心して退院し、在宅療養が送れるための機能を  
 果たす(在宅移行ハイリスク者へ対応)

### ターミナルへの対応

ターミナルケア(医療処置、疼痛コントロール、栄  
 養・排泄管理、死後の処置等)に24時間対応し、  
 在宅死を希望するターミナル患者を支援する機能  
 を果たす



\*日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」の出生中位(死亡中位)推計)に性・年齢階級別の介護保険サービス受給率を乗じ、居宅サービス利用率(現在と同水準と仮定)を乗じ、さらに居宅サービス利用者のうちの訪問看護利用率を要介護度3~5は2倍になると仮定して推計。その値に施設入所定員を超える人数及び医療保険を2割上乘せた場合の推計値。